



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 岡山県貨物運送株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9063 URL https://www.okaken.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 遠藤 俊夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 若狭 慎一 TEL 086-252-2114  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	31,305	3.8	1,384	4.0	1,498	5.5	964	△9.0
29年3月期第3四半期	30,159	0.0	1,330	△3.3	1,420	△2.1	1,060	10.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,136百万円 (△15.0%) 29年3月期第3四半期 1,335百万円 (40.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	47.53	—
29年3月期第3四半期	51.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	43,106	14,618	33.9	719.47
29年3月期	41,678	13,607	32.6	669.53

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 14,593百万円 29年3月期 13,584百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,700	1.1	1,540	△2.9	1,660	△3.6	1,040	△15.1	51.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	22,000,000株	29年3月期	22,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,717,077株	29年3月期	1,711,387株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	20,285,540株	29年3月期3Q	20,557,389株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年12月31日)における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善が見られ緩やかな回復基調で推移しているものの、米国の政策運営の動向や北朝鮮情勢などにより、依然として先行き不透明な状況でありました。

輸送業界におきましても、国内総輸送量はやや回復傾向にありますが、長時間労働の抑制、燃料価格の問題等厳しい経営環境下にあります。

このような状況のもと、当社グループは、平成29年の会社目標である「営業推進と決め事の遵守」のもとに、社員全員で荷物の獲得と適正運賃の収受に努め、お客様に満足していただける安全・安心な輸送会社を目指し全力で取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は313億5百万円(前年同四半期比3.8%増)となり、営業利益は13億8千4百万円(前年同四半期比4.0%増)、経常利益は14億9千8百万円(前年同四半期比5.5%増)となりました。また、前年は固定資産売却益の計上等があったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億6千4百万円(前年同四半期比9.0%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## ① 貨物運送関連

貨物運送関連につきましては、物量がやや回復したことや、適正運賃の収受に取り組んだことなどにより、営業収益は299億3千3百万円(前年同四半期比3.5%増)となりました。営業利益は、原油価格の上昇に伴う燃油費の増加等はありませんでしたが、経費削減に努めた結果、12億4千2百万円(前年同四半期比3.3%増)となりました。

## ② 石油製品販売

石油製品販売につきましては、商品販売価格の上昇等により営業収益は9億1千2百万円(前年同四半期比14.6%増)となり、営業利益は8百万円(前年同四半期は6百万円の営業損失)となりました。

## ③ その他

その他につきましては、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおり、営業収益は4億5千9百万円(前年同四半期比5.7%増)となり、営業利益は1億1千7百万円(前年同四半期比12.0%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は431億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億2千7百万円の増加となりました。これは、現金及び預金の増加等により流動資産が10億1千8百万円増加し、建物及び構築物の増加等により固定資産が4億9百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、284億8千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億1千6百万円の増加となりました。これは、短期借入金の増加等により流動負債が8億6千8百万円増加し、長期借入金の減少等により固定負債が4億5千2百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、146億1千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億1千万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、雇用情勢や個人所得の持続的な上昇、設備投資の増加基調等、景気は引き続き緩やかな回復基調で推移すると思われませんが、海外政治情勢による影響など、先行き不透明な状況が継続することが想定されます。

当業界におきましては、原油価格の動向、ドライバー不足、労働時間の問題等、更なるコストの増加が懸念されるなど、厳しい経営環境が続くものと思われれます。

こうした中、当社グループでは、お客様に満足していただける輸送品質の向上に努め、お客様より信頼され選ばれる会社を目指す所存であります。

通期の連結業績予想につきましては、現時点では平成29年5月12日公表時からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,052,587	5,800,909
受取手形及び営業未収入金	6,984,282	7,327,355
たな卸資産	123,030	151,153
その他	518,874	417,668
貸倒引当金	△3,858	△4,055
流動資産合計	12,674,917	13,693,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,026,088	7,621,729
車両運搬具(純額)	1,445,277	1,621,762
土地	15,673,801	15,669,789
その他(純額)	799,844	237,873
有形固定資産合計	24,945,011	25,151,155
無形固定資産	608,252	617,653
投資その他の資産		
投資有価証券	3,034,589	3,241,337
その他	433,508	415,669
貸倒引当金	△17,609	△12,473
投資その他の資産合計	3,450,488	3,644,532
固定資産合計	29,003,751	29,413,341
資産合計	41,678,669	43,106,372
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,752,437	3,066,666
短期借入金	6,973,745	8,295,181
未払法人税等	451,237	121,258
賞与引当金	250,784	4,650
その他	2,764,010	2,573,436
流動負債合計	13,192,214	14,061,192
固定負債		
長期借入金	10,640,685	10,180,203
役員退職慰労引当金	141,904	102,849
退職給付に係る負債	2,984,698	2,983,991
資産除去債務	101,492	102,805
その他	1,010,339	1,057,215
固定負債合計	14,879,119	14,427,064
負債合計	28,071,333	28,488,256

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,420,600	2,420,600
資本剰余金	1,770,311	1,770,311
利益剰余金	9,131,924	9,974,533
自己株式	△289,439	△291,088
株主資本合計	13,033,396	13,874,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	643,433	762,491
退職給付に係る調整累計額	△92,820	△43,787
その他の包括利益累計額合計	550,613	718,703
非支配株主持分	23,326	25,056
純資産合計	13,607,335	14,618,116
負債純資産合計	41,678,669	43,106,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業収益	30,159,613	31,305,029
営業原価	27,663,165	28,744,884
営業総利益	2,496,448	2,560,144
販売費及び一般管理費	1,165,865	1,175,744
営業利益	1,330,582	1,384,400
営業外収益		
受取利息	56	42
受取配当金	32,217	36,509
受取賃貸料	130,271	125,576
持分法による投資利益	53,198	54,361
その他	80,236	60,449
営業外収益合計	295,980	276,939
営業外費用		
支払利息	181,968	161,693
その他	23,687	1,286
営業外費用合計	205,656	162,979
経常利益	1,420,907	1,498,360
特別利益		
固定資産売却益	270,300	22,793
特別利益合計	270,300	22,793
特別損失		
固定資産売却損	8,517	1,364
投資有価証券売却損	668	—
投資有価証券評価損	297	—
ゴルフ会員権評価損	2,100	—
特別損失合計	11,583	1,364
税金等調整前四半期純利益	1,679,624	1,519,789
法人税、住民税及び事業税	506,637	425,320
法人税等調整額	109,012	126,398
法人税等合計	615,650	551,719
四半期純利益	1,063,974	968,070
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,958	3,730
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,060,015	964,340

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,063,974	968,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218,294	119,058
退職給付に係る調整額	53,706	49,032
その他の包括利益合計	272,000	168,090
四半期包括利益	1,335,974	1,136,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,332,016	1,132,430
非支配株主に係る四半期包括利益	3,958	3,730

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	貨物運送 関連	石油製品 販売	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	28,928,535	796,232	29,724,768	434,845	30,159,613	—	30,159,613
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	24,307	1,452,273	1,476,580	888,223	2,364,804	(2,364,804)	—
計	28,952,843	2,248,505	31,201,348	1,323,068	32,524,417	(2,364,804)	30,159,613
セグメント利益 又は損失(△)	1,203,244	△6,732	1,196,512	105,160	1,301,672	28,910	1,330,582

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額28,910千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	貨物運送 関連	石油製品 販売	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	29,933,454	912,117	30,845,571	459,457	31,305,029	—	31,305,029
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	24,619	1,661,751	1,686,370	992,126	2,678,496	(2,678,496)	—
計	29,958,073	2,573,868	32,531,942	1,451,584	33,983,526	(2,678,496)	31,305,029
セグメント利益	1,242,516	8,698	1,251,215	117,777	1,368,992	15,407	1,384,400

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用品販売、フォークリフト販売及び一般労働者派遣等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額15,407千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。